

【大洲に行って学んだこと】

帰りのバスの中でも話した部分があるのですが、最近私は、何にもしたくなくてすごく無気力でした。ただ、ぼーっとしてて人といるときは普通に見えたかもしれないですが、実際は少し病んでいました笑

それに加え、楽しそうに生き生きしている人を見るのがすごく嫌でした。

そうゆう人を見ると羨ましく感じたり、劣等感があつたりして、でもそれを認めたくなくて、「別にいいもん」って意地を張っていました。

しかし大洲に行って、「どうやったらモチベーションが保ちますか？」っていう質問する形で、何人かの社会人の方に SOS を求めました。

そうすると、

- ・ 憧れている人に会いに行く
- ・ 楽しくなる別の方法を考える
- ・ 自分にも相手にも期待し過ぎない

という答えが返ってきました。

その中でも「自分にも相手にも期待し過ぎない」という言葉が最初に自分の中にスッと落ちてきました。

最近の私は、あれもこれもしようとし過ぎていました。

よく考えてみたら、こここのところバイト週7が続いていたなあとか、お金が欲しいがためにめっちゃ命賭けるくらい気負いしてたなあとか、家帰って寝る。の繰り返しで自由な時間ほぼ無かったこと気づきました。

確かに病むかもしれない！ですね！笑

全部、かっこいい女性になりたくて頑張ってきたことだけど、自分に過度に期待し過ぎていました。

もう少し、余裕を持った予定を立てます。

それができるようになったら少しずつ、グレードアップさせていこうと思いました！

2番目にスッと落ちてきた言葉は、「楽しくなる別の方法を考える」です。

今、やってて苦しいことがあるなら、そのやり方は自分には合っていない！と見切りをつけることもすごく大事なことですよね。

自分1人で頑張っていると視野が狭くなって気づきにくくなってしまいうけど、目標とか自分との約束を、守る方法って一つじゃありませんよね！

おんなじ場所でジタバタするのをやめよって思いました。

ガラッと、考え方・やり方変えるっていう方法を再認識させていただきました。

大洲に参加して、社会人の方とお話して今、自分が何に悩んでいるのかが分かって、こうして振り返りを送って、頭の整理ができて、言葉に出すこと、文にすることなど「発信」ってやっぱりすごいなあって改めて思いました！

今整理できて楽しいです、(´▽`)/

勇気があることだけど、その分の対価は多いことだと身をもって感じました！！

岡田 美空

=====

○今回の集会で出会った素敵な方

伴野博美さん(50代くらいの女性の方)(分散会3)

・この方は、愛媛の教育委員会の方のお声がけで、東京都杉並区という遠いところからおいでくださった学校教育コーディネーターの方です。

・今現在は、すぎっこクラブという子供教室の拠点リーダーをされています。

・学校と連携していくために、学校教育についてたくさん勉強されたそうです(学習指導要領を全て熟読し、何度も指導案を書いたとか)

*この方のその経験を知って考えたのは、学習指導要領を全て読むぐらいの「努力」が、彼女のいまの活動に結びついたのであれば、私も地域の方と連携していくために努力したい、ということです。

子どものために思ったら、そう思うことができます。並大抵の、1日や2日の努力では実らない成果とは思いますが、突いたらとても素敵だと思います。

○この経験を通して学んだこと

地域と学校の連携の課題の一端を知ることができました！

私はそもそも地域教育について大雑把な知識しかなく、地域と学校の連携の難しさについてあまりわかっていませんでした。

しかし、今回この集会に参加させてもらって、その課題とは何か、少し理解できた気がします。(本当にその課題の重要性を理解している方々が今現在各地域でがんばっている方々なんだとは思いますが…)

課題、についてなのですが

例えばですね、、、地域の人は、学校のことをよく知らないまま、こういうことしませんか？って活動を持ってこようとするのが学校側の方は、やっぱりそういうのは苦手だと思うんですね。学校側には既にカリキュラムや指導目標などがあり、不審者への警戒もありますから。お互いにお互いの事情を理解する努力が必須です。

こういったことを教員になる前に知っておいてよかったと思います。お世話になった方にはお手紙を書こうと思います。

大久保 優子

=====

・参加にあたっての想いとその振り返り

私は今回、学校教育と地域がどう関わっていくべきか、一教員として出来ることは何なのか、その視野と見識を広げるという目標で参加しました。

そのことについて得た認識の1つが、学校と地域が密に関わるための中継役、いわゆるコーディネーターの存在の大きさです。

学校と地域が直接繋がるのは難しいかもしれませんが、コーディネーター(ある人は「コネクター」とおっしゃっていました)という中継役がいるだけで、その連携はスムーズに、またお互いにとって有意義なものとなるのが、実践発表を聴いてすごく感じました。

学校の教員がコーディネーターの方に、こんな授業がしたくて、こんな経験をさせてあげたいんだけど、誰かそれに精通している人いませんかと相談すると、コーディネーターの方が地域の方々との繋がりを生かして適した人を学校に紹介する、という形で回っていくのですが、地域の方々にとっても、自分の仕事や得意な事が、子どもたちからするとすごく興味が湧いて楽しそうに触れあう姿から、改めて自分に誇りが持てるそうです。

人間力育成が目指す家庭教育・学校教育・地域教育のイメージ図が頭に浮かんで、コーディネーターの役割はこの形の実現にかなり貢献するのではないかなあということなんかも考えました。

自分が教員として働き出した時には、そこでどんな地域の人材や資源が活躍しているのか、または眠っているのか、どう生かせるのかそんな視点を持ちながらやっていきたいと思います！

・素敵な方々との出会い

愛媛県教育委員会の大森茂樹先生との出会いが自分の一番の収穫かも知れませんが、その方から聞いた言葉です。

「たくさんの人に好かれなくても、たくさんの人を好きになりたい」

たくさんの人に好かれたい自分にはすごく響いた言葉です。

(スナックの男子トイレの前に貼ってあったそうです)

大森先生は、自分のことをどうしても好きになってくれない子どもがいても、「俺はお前のこと好きやけん」というメッセージを発し続ければ、何か届くと思うとおっしゃっていました。

また、若い教員がしといた方がいいことは何ですか？と聞いたら、

- ・自分のこだわりを失わないこと
- ・子どもととにかくいっぱい遊ぶこと

・失敗を恐れないこと

この3つを教えてくださいました。

実は2つ目の、「子どもと遊ぶこと」は、愛媛県教育委員会の安部周作先生からも言われたことなので、来年は子どもと遊びます！！

今回紹介した方以外にも、本当に素敵な方々と出会わせて頂きました。

このご縁は絶対に繋げていきたいと思います。どうかして来年も参加したいです。笑

・今後の目標

これからは、立派な教師へとなるための一生続く修行に出ます。

最近出会ったこの言葉が、今の目標とすごくマッチしているので紹介します。

『寂しい時にその人を思えば慰められる。そんな友は欲しくない。

怠るときにその人を思えば鞭打たれる。そんな友が欲しい。

友のために、私はそういうものでありたい。』

本当に密度の濃い2日間でした。

吉永 健人

=====
【教育とは??】

地域教育実践交流集會に参加するにあたっての私の目標の1つは、いろいろな人の意見を聞いて、自分の教育観を広げる！ということでした。

私は教育学部の学生ということもあり、これまでは、「先生として子どもにどうすべきか」というように、「教育」を学校の先生の視点でしか捉えられていませんでした。

しかし、教育の目的である「健全な人格の形成」は、学校教育だけでは達成できません。地域や社会の力が必要なのです！このことに気付くことができました。

思い返してみれば、私が子どもの頃は、学校の先生や両親はもちろん、祖父母、地域の方々、友達のお父さんお母さん、などなど、色んな人と関わり、色んな体験をしてきました。つまり、地域の中で育ててもらったのです！

先生や親だけじゃなくて、みんなで考えて、みんなでするのが「教育」なんだとわかりました。

そして、核家族化が進んで、つながりの薄さが懸念される日本社会では、地域教育がますます必要になると感じました。

その担い手になりたいと思いました！

【幸せ→仕合わせ】

私の人生の目的はズバリ、幸せに生きることです！！

愛する旦那さんと時間を共有して、一軒家を建て、外車（ミニクーパー）に乗り、平日はしっかり働いて、休日はゆっくり過ごす。っていうのが私の思い描く幸せの形で、これを本気で叶えたいと思っています！笑

そのためには、自分を磨かないといけないし、管理能力を身に付けたり、仕事に役立つスキルを身につけたり…努力しないとイケないわけです！

でも、今回の地域教育実践交流集會に参加して、初めて、その夢の先を考えました。

子どもを生んで、子育てをして、子どもを一人前にして社会に送り出す。

このような、次世代を育てるという使命が私にあることに気が付きました。

そして、いろいろな人のお話を聴くことで、

- ・将来自分が住むであろう地域の方々と、協力して子育てに励みたい！
- ・地域の方々と関わりを大切にしたい！
- ・地域教育に積極的に関わりたい！

というような、今までは考えていなかった、新たな夢を描くこともできました！

この二日間で、自分のための「幸せ」から自分の周りの人とつくる「仕合わせ」を、より大事にした

いと思うようになりました。

自分の見方や考え方が広がったことが、今回の大きな収穫ですね！！

坂崎 結萌

=====

【仕事ができる人は、本気で遊べる人】

この言葉は2人の方から聞きました。おそらくほとんどの人が仕事をしているだけではしんどいと思います。

本気で遊んでリフレッシュできるから、仕事にも集中して取り組めるのかなと思います。

私も予定が詰まってしんどいなと感じる時があります。

そんな時に遊びたい！と思っても今は無理だからと自分の気持ちに蓋をしてしまいます。

でも、自分の気持ちを見捨てるのではなく、今すぐじゃなくても遊びの予定を立てたり、ちょっと空いた時間で気分転換をすることで、しなくてはいけないことがはかどったり、楽しくできるのだと思いました！

なので、私はこれから忙しくても、楽しい予定を立てて頑張ることにしました！

【今の間にやりたいことをやっておくべき】

大学生のうちはお金はなくても時間はある、1番自由に時間を使えるから後悔しないようにやりたいことをやっておくべきだと言われました。

今は、自分の中で色々諦めてしまうけど、もっといろんなことが出来る可能性があるんだと思いました。

自分がしたいことを、自分がしたいように、やることを取捨選択していきたいと思いました！

たくさんの方と話すことが出来て、いろんな意見を聞くことが出来て、もっと頑張ろうと思うことが出来ました

一色 結末

=====

【学校のもつ可能性】

私は教員志望なので教員という立場から地域性での教育にどれだけ関わっていけるのかという可能性を探ることを目標としていました！

教員で地域教育に関わる方と教員でなくて地域教育に関わる方と両方のお話を聞いて感じたのは、地域教育に理解のある教員が求められているということです！

学校を拠点に活動したり学校の先生に協力して活動したりすると子どもたちを集められやすくなります。

知っている先生がいるから、と参加しやすくなることもあるそうです。

でも、学校が居心地のよくない子にとっては学校の先生がいるほうが落ち着きません。

先生に協力してほしい場面があるし、逆にあまり出てきてほしくない場面もある。

そういう意味で、地域教育に対して理解のある教員が求められていると感じました！！

また、コミュニティスクールが提唱されていて地域の拠点としての学校の役割が大きくなってきている今こそ、学校ができることってたくさんある！と思いました＼(^o^)/

【果敢に挑戦する！】

私がお会いした中で小学校の先生をしておられる方から刺激を受けました！

その方はほんとに、先生…??っていうような大胆すぎることをたくさんしておられて、その分聞いているこっちがハラハラするような失敗をしてこられた方でした。笑

たくさん失敗をするからこそ経験値が高まって色々な子の気持ちがわかるようになるそうです(*^o^*)

私も大胆に！挑戦していきたいと思っています＼(^o^)/

廣瀬 麻理

=====

【想いを形に…】

昨日のインターン先で「我が社は、利用者や社員の想いを形にする企業です」と担当者の方がお話しされていました。

まさに、大洲へ来られた各団体様は、こうした” 想い” を”形” にした使命感を行動にしたみなさまだったな一と感じて、たとえば、自分のまちを残したい、良くしたいだとか 子どもにいろんな体験を通して成長してほしいとか みなさま、根底の想いがあふれていたように思います。

じゃあ、私たちの想って何だろう？

おの100の想いをみんなで持っているだろうか ちょっと気になったのです。

【現状の理解】

たとえば、「子どもへの想い」を例にするなら 今の子どもに、生きる力の欠如を感じてない学生に感動を作りたいって思えるのかな？

感動が、子どもを育てると理解してない学生に必死になって感動創造できるのかな？と、仲間に対する想いなら、仲間の状況、想いが分かってないといけないし、まちへの想いもまちへ出てみないとわからない私たちが、想いを形にする前に想いが沸くための努力をどれだけしているのかそれが気になったのです。

もちろん、直感でこうしたい！ってのがあんなら必死に理論を詰め込まなくていいと思うけど やっぱり、学年があがるごとにそれに応じた勉強をしなくてはいけないな。

さらには、勉強で感じたことを社会に確かめに行かないといけないなと感じました。

それは、この冬にこそやることだよな！

だから、まずは本をじっくり読もうと思います

丸山 晃平

=====

【挑戦！】

今回お話を聞いたなかで、無人島で子どもと9泊10日する活動や準備や料理を子どもに全て任せて活動している団体さんの話を聞くことができました！

各団体さんの聞いて危険じゃないか？リスク高すぎない？と感じた部分もありましたが、目指すゴールのために、対策を練り、多少のトラブルが起こってもうまくいくよう準備して、子どもたちのため地域のために動いていました。

今やっている自分たちの活動でも事業趣旨という目的達成に向け動いていると思います！

もうすぐ始まる16回おの100でも一人ひとり軸を持った上で、失敗を恐れず、新しい発想を持ち、いろんなことに挑戦していきたいと思いました！！

【危機感】

今回の大洲で、今年の5月にあった福岡の生涯教育実践研究交流会で出会った人と約半年ぶりに再会しました！

南日本ハムの難波さんという方で、難波さんは自分が目指す食品関係の仕事をしており、その中でも企業という立場でありながら南日本ハムのなかで ものではなく、事を売っており、社会貢献活動として食育であったり環境のために企業の名を背負って活動されている方です！

今回の大洲では来年自分は就活をする身としてどういった人材が欲しいのかを聞かせてもらいました。自分は食品関係で企画または営業系の仕事に行きたいと思っており、そしてある程度想いも持っていたのですが 難波さんから、「具体的にどういった食の問題に対してどんなことがしたいの？」といった質問や「今起きている食の問題やニュース知ってる？」「SDGs って知ってる？」と聞かれた時自分は答えられませんでした。

どんな人を企業は欲しいですかと聞いた時、問題に向けて行動できるひとかなと言っていました。

今回話して振り返るなかで問題が何かわからないのに、どうしたい、こう動きたいと言っても、問題解決はできないのだなと感じました。

難波さんからはアドバイスとして新聞を読んだら？とかどんな問題があるか考えてみてねと言わ

れました。

自分の就活としての危機感とともに、問題意識が少ない自分に危機感を感じました。

どう動いたらいいか今はまだ固まってませんが、まずは難波さんからアドバイスいただいた、新聞を読んだり、今の問題を考えていこうと思います！

今回の大洲ではたくさんの元気な人からエネルギーをもらいました！

岡田 朋将

=====

【教員ってなくなる！？】

大洲市教育委員会生涯学習課 瀧野逸武 様より伺ったお話です

「IoT やAI が進化する時代の中で将来は機械が行う仕事 人間が奪われてしまう仕事はたくさんあるけど 教師だってその一つかもしれない。各教科の指導を行うだけなら個人でパソコンやタブレットを使い学習することが出来るから」

将来教員を目指している私にとってかなりショックなお話でした。

科目の勉強を教えているだけでは教員の仕事はなくなってしまうならば、人間が、教員だけが教えられることは何でしょう？？

人との関わり方、接し方 人から学ぶことの楽しさ 今、僕たちが教えていただいている【人間力】だと、私は考えます。

頭のいい人が、勉強の出来る人だけが教員にふさわしいわけではない。。

大洲会議の合言葉でもあった「かかわりをチカラに つながりをカタチに」人のかかわりを教員のチカラに 人とのつながりを学校というカタチに残していきたいと思います。

【職業で、大切なこと】

二日間、たくさんの方と交流をしていく中で重要だと思うことが見つかりました。

☆楽しむこと

☆目標（目的）を忘れないこと

この二つは、参加されていた方から溢れでてくるようなみなぎるようなそんな勢いを感じました。

自分がしている仕事について誇りを持って話せること

それを若い人たちに共有できること

とてもかっこよくて憧れました！！

でもこれを、若い世代の私たちが出来たならば、めちゃくちゃかっこいいですね！！

そのために

・自分が行っていることの本質を理解すること

・自信を持って行動すること

若いときには、失敗をしておくことが大切だとも伺いました！！

波多野 海大

=====

◆本質は何か突き詰めて！

今年の1月頃にNPOおのみち寺子屋としてもお世話になった益田市の大畑先生が紡ぎ出されるお言葉や質問、表情、行動すべてにハッとさせられるものがありました。

分科会でご一緒させていただいたのですが、発表者にされる質問を聞いていて、聞いている私が前向きになれて、「そうだそうだ、これが大事だった！」と思わせられる、生きた言葉たちでした。

「その時の子供たちの反響は？」「やってみた手応えとか、見えたものって？」「なんでこれ、しようと思ったの？」などなど…

発表されているときの大畑先生も、益田市の人間のありのままの姿を見た上で、その人たちの思いを汲み取りながら、かつ益田市の人たちがイキイキと生きていけるよう、仕事をされる方たちと命を使っているのがひしひしと伝わってきて、、、

まぶしすぎました(笑)

社会人になったわたしは、「子供達の心奥深く眠った思いに寄り添いたい！」「子供達の安心、自信を

支えたい！」「子供達に接する人として、伸び続ける人で在りたい！」という初心を忘れることが多く、目の前の表面的なことに目をとられ、保育の本質（子供の心もち）に心が向けられていなかったんだなあと。

反骨精神を持ちすぎて(笑)人として当たり前のことができなくなりつつあったのかもしれませんが！
苦手な人とかかわろうとすることさえも諦めていました。

そうじゃなくって！！私の仕事は子供達の心もちに寄り添い、「やってみたらできた！」「自分って、この世界って捨てたもんじゃない！」「他者と何かすることって楽しいな」って身体中で感じてもらうこと、でした（^ ^）

忘れがちになって、すぐ傲慢になってしまう私ですが、大畑先生のように本質を忘れず、素直に謙虚に！相手への敬意を忘れず！自分の人生を歩んでいきたいなと思いました*

（そして、大畑先生のもとで働きたいなと思ってしまいました、、笑）

◆視野を広く！！

これまた大畑先生の発表を聞きながら、ですが、目の前のことにとらわれ過ぎて、目の前のちっぽけなことに私たちは奔走されすぎなのかもと思いました。

本質を押さえ、視野を広く見れば、私たちはなんだってできるはず！

おの100の組織もこの2、3年で大きく変わり、踏ん張っていかないといけないときだからこそ、「これを大事に！」「もっとこんな風にできるんじゃない?!」を何度も何度も考え抜いていきたいです！

私たちはもっと、私たちの組織をよくできるんです！

なんだってできるんです！たくましい人間になっていくぞ\(^o^)/

森田 水加穂

=====

【人生の大先輩たちがたくさん！！】

僕はこれからの生き方、絶対に曲げない軸をきちんと自分のものにするために大洲に行くことを決めました！

僕は、自分のこれからの生き方、モットーを「楽しんだもん勝ち」にする、そのための核となるものを磨きに行くことを目標として、結果、それを達成することができたのかなと思います。

その理由として、人生経験豊富な方たちとこれまで失敗した話を笑いながら喋って、今の自分の悩みを真面目に話して、今の不満とかも話して、そうしているうちにたくさんのアドバイスをもらいました！！

やっぱ、間違いだとか、そうじゃない、とかっていう話ではなくて、《自分で決めたことを全うして行く》これが心に深く残ったので、「楽しんだもん勝ち」これをきちんとぶらさないように楽しく生きて行こうと思いました！

これが僕の大洲で学び、決めたことです！！

とりあえずやってみた、やってみる(笑)（失敗多め）失敗なんて当たり前だろう、だってやったことないんだから(笑)楽しいか？当たり前だよ！！

苦労したその先に見たたくさんの方の笑い声が聞きたいんだよ！！！！

これらは僕がみなさんにいただいた言葉です。

その中で共通していたところは、《情熱と自分の仕事への愛情》これが根っこにあって揺るぎないモノなんだと感じました。

で、僕のモットーである「楽しんだもん勝ち」という話もちろんしたんですけど、すごい食いつきようでした(笑)

本当に僕たち学生のことを宝物、時には孫??(笑)感覚で接していただいた。

おかげで緊張することなく、思う存分に大洲を楽しむことができました！

そして、来年もっともっとたくさんの方を、今日みたいにたくさん話そう！来年も大洲に来いよ！！とおっしゃっていただけのこともできました！

大洲では、今やっていることを応援してもらえる心地よさを感じられました。

同じ失敗をしてきたからこそそのアドバイスをもらえました。
学生の頃にしていた遊びのことも聞きました。(今では、実行できないですけど(笑))
本当に人生の大先輩がたくさんおられました！
教育に直接携わることを目標、夢？とかに僕はしていないけれど、そんな僕でも教育っていいな！人と、地域と、子供たちと関わるっていいな！って心から思えました！！!(^o^)
来年もみんなと大洲に行って多くのことを学んでいきたいと思います！

伊藤 優希

=====

まず今回感じたのは、出会いは必然的だなということです。
大洲に行かれたことがある方はわかると思いますが、分散会はくじによって会場が決まります。
僕は分散会場で、去年分散会場が一緒だった方と、今年も一緒になりました。
最初は仕組みされているのではないかと、疑いましたが、まぎれもない事実でした笑
相手の方もすぐに気づかれました。
その時、出会いは必然的だと感じました。
二度あることは三度あると言います。
また来年も参加したら、同じ分散会場になるよと2人でしばらく話していました*(^o^)/
また2次会では、とある企業の代表取締役の方とお話しをしました。
その際に、自分は先輩だから躊躇って相談をしなかったり、相談しすぎると迷惑なのではないですか、と質問しました。
先輩だからという理由で躊躇うことなんてなくていいんだよ、むしろ相談してくれない方が上の立場からすると何を考えているのか分からないから相談してくれる方がありがたい、と言った答えが返ってきました。
アプローチして、良い関係を築いていき、少しずつでもいいので今のメンバーとも良い関係が築いていけるようにしていきます！

北山孔貴

=====

【時間の使い方】

大洲では地域教育に本気になって取り組んでいる大人の皆さまとたくさん交流させていただきました！
熱いみなさんでしたが、地域教育だけに力を注いでいるわけではなく、しっかりとお仕事もされていて、時間の使い方が上手いなーとぼんやり思っていました。
しかし、いろんな方と交流させていただくと、ただ「時間の使い方が上手い」のではなかったんですね。
次に自分が何をすれば良いのか、それまでに何をしておかないといけないのか、できなかったときは？その仕事の重要度は？？と自分の行動を明確にイメージしているんですね。
ただ、朝起きて今日も1日何となくって1日終わるか、それとも、明日はこれがあるから早めに寝よう！って準備して、自分の決めた時間に起きて、自分の決めたことをして1日終わるか、同じ1日でも時間の充実度も一つ一つに向かうやる気も、なにもかも違いますよね！
「自分はどうなりたいのか考える前に、今日一日をどうしたいのか考えていけば自然とやりたいことに近づいていたよ」ってほろ酔いで言われるその方にカッコいいなー、大人ってこういう人のことを言うんだなーって思いました！
せっかくの学びをいただいたので、自分はいつもより30分早く起きて、元気に1日1日を充実させていこう！って思いました！

村田亮登

=====

【環境が大きく関係する】

私が聞いた事業の1つに、高校の放送部のプレゼンがありました。
高校生たちの発表、考えを聞いて、こういう高校生っているんだ！と思いました。

すごいと感じたけど、環境が人の成長にとても大きく関係するのだなとも感じました。
私が、地元を好きなものいろいろな人と関わっているからだし、今も心に残っている出来事があるから
です！

高校生の発表で環境を創るのは、まぎれもなく自分なんだと感じました。
自分が避けたいいけないんだと思いましたし、今回の高校生みたいな人が1人でも多く出てくるよう
に地域に関わった活動をしたいと思います！

今回の大洲は3年間で一番楽しめた2日間でした。
なぜだろうと考えたら、「相手の言葉を受け止める器が大きくなった」のかなと思います！
(自分で言うことではないですけど(笑))

言い方を変えれば、「相手の想いを少しでも自分の何かに活かしたい」ということです。
今年は、いろんな方とお話して、この人の発言、行動はどのようにして得られたのだろうか？
この人は、なぜあの発言をしたのだろうか？自分は何をしているのだろうか？何がしたいのだろうか？
と様々な方面から考えることが出来ているからかなと思います。

多くの人の想いを見た分、自分のはめられる型が増えていくと思っています。
いろんな人と関わって、自分がめざしたい人に向かって頑張ろうとまた思えました！
私の目指す人は、「第一印象でこの人だ！って思える人」になることです！
大洲に行った人たちはそのような人たちがたくさんいたと思います。
普段の生活でも思える人がたくさんいると思います。
その人たちに肩を並べ、いつかそれ以上な人になりたいと強く思いました！
地元のことをもっと知って、地元で出来ることを1つでも見つけていきたいです！

池谷知将

=====

【地域の発信】

大洲では、地元の魅力を聞いてみようと思いましたが、どうも知らないことが多いなと感じました。
今まで地元になんの興味もなく、悪口ならいくらでも言える私でしたが、帰りのバスでどうやったら
良い発信ができるのかをいつのまにか考えていました。
よって、私は認知心理学のゼミに入り人の興味をどう引くかや、良いイメージを持つかを学んで、今
治の良さを発信できる人間になりたいなと思うようになりました。
大洲は熱い人が沢山います。全員が今の状況に真剣に向き合っているいろんな話をしていました。
故に楽しく、まじめに話のできる場です。

西原 明輝

=====

【自分の地域(まち)を好きになろう！】

大洲で出会った地域教育を実践されている方に、共通していることは、自分たちの地域(まち)が好き
で、だからこそ、その地域を創っていく子どもたちのために、教育活動をしていきたいという、エネ
ルギーに溢れているのだと考えました！
これは、おの100でも言えることであると考えています。
自分たちが活動する、尾道を盛り上げたい、好きだという気持ちが、おの100をもっと良いものにし
ていきたい、子どもたちのために頑張りたい、という気持ちに繋がっていくと考えます！
自分自身、今は尾道が好きですが、最初から好きだったわけではありません。
協賛金募集活動などで、尾道の様々なモノに触れてきた体験が、きっと僕の中に、尾道が好きだとい
う、気持ちを芽生えさせてくれたのだと考えています。
16t回おの100ができるのは、尾道があるからです！
尾道を魅力に感じ、尾道を良くしたい、そう思える学生スタッフが増えていけば良いなと考えていま
す！

【0から創る楽しさ、やりがい】

大洲で出会った人の中に、アフリカのモザンビークに日本から教育支援を20年近く行い、最近になっ

て、モザンビークに公民館を建てる事ができたという方がいらっしゃいました！
その方と、お話しする中で印象に残ったことは、「0から創っていくからこそ、教育は面白く、楽しく、そしてやりがいを感じることができるんだよ！」というお言葉でした！
思えば、おの100でも0から創り上げていくことを、活動などで体験しました。
0から創り上げていくことには、苦しいこともあります。
けれども、既に1あるものを創っていくことに、私たちは魅力を感じるでしょうか？大きな学びを得られるでしょうか？
きっと皆さんの中には、おの100に入られたとき、おの100が学生主体で、企画・運営していくことで、社会で必要な力を高めることができるという点に、魅力を感じた方もいらっしゃるのではないかと考えています！
自分がどうしておの100をやっているんだろう？ということや、おの100の魅力の一つである、0ベースから創り上げていくことの、意義を見つめ直すことも、16回おの100に向けて、一人一人がしていくべきかなと考えています！

【貌言視聴思】

最後に、大洲の中で、「貌言視聴思」(ぼうげんしちょうし)という言葉が印象に残ったので、それを紹介します！

貌＝心をこめてやさしく和やかな顔つきで人と接しましょう。
言＝温かく思いやりのあることばで相手に話かけましょう。
視＝心をこめて温かいまなざしで人を見、物を見るようにしましょう。
聴＝相手の話心に心をかたむけよく聞くようにしましょう。
思＝まごころをこめて相手のことを思いましょう。

貌言視聴思の考えを、人との関わりで大切にできれば、きっと相手との関係が良くなり、その関係が、広がっていけば、組織や地域は良くなっていくのかなと考えました！

小坂祐貴

=====

【大事なことは大きいことではなく…】

分散会で一番響いたことを！
それは住友化学愛媛社友会という団体の方への質疑応答の時間のことです！
この社友会は、定年を迎えた高齢者の方々の団体で、理科教室やパソコン教室など地域で子ども向けのボランティア活動を続けておられるそうです。
発表後の質疑応答の時間、「この活動が理解されるために、どんな努力をされましたか？」という質問がありました。
それに対する答えが“30年間、地域の清掃活動を続けて来た”ということでした。
これらの活動をする前からその人たちが頑張っている姿を地域の人達は見ていたんですね！
何をするのかではなく、どれだけするか。
特別なことである必要はなくて、“誰にでもできることを誰にもできないくらいに”が大切なんですよ。
小さいことでもなんでもいいから元気に頑張ればいいんですね(^o^)

河野茉穂

=====

【学んだこと】

私は後期の授業が始まってから優先順位のつけ方がずっと分からず目の前にあることをとりあえずやるって感じでした。
分からないから、出来ないって決めつけていて今回の大洲で答えを知れたら…と思いました。
何人かにお聞きして
・情熱をもってやる
・切り捨ててみるのもいい

・卒業することが大切

とかえってきました！

やりたいことがたくさんあるって羨ましい！とも言われました！

真ん中と最後は似ていると思いましたが、全然違いますね。。

切り捨ててみる、はスッパリ諦めること 卒業すること、はやりきることということなのですね。

両方大切です！どちらにも絞れません…

だけど今のところ卒業することを優先順位をつける上で軸にしたいです！

わりと諦めの良い性格だったので^^;

今までの自分を見直す中で少しずつ変えていきたいです。

最後までやりきる、というのはただ、卒業までの時間を待つのではなく、それまで何ができるか、どうしたら力になるか、何のために卒業するのか(何ができるから卒業できるのか)

『なぜなぜなぜ』をしっかりします！

環境は違えど与えられている時間はみな平等です。

時間がないことを言い訳にしたくないです。

その時間をいかに力にできるか、それはその人自身の問題です。

もっと、頑張らないと、、！

また最初の情熱を持つ、というのはクールだなあと思っていた方に言われたので正直びっくりしました。(失礼ですね?)

この言葉を聞いてもっと勉強しよう、もっと周りを観よう、もっともっと頑張ろう！！と思いました。

【教育について】

この交流会に参加するまで地域教育について考えていませんでした。

私の話になるのですが 教職を取っていますが、教採を受けることを考えていません。大学受験の時から考えていました。

ですが、発表していた放送部の顧問の方にやってみるといいよ、と言われて色々割り切る必要ないと感じました。

また、地域教育についての学びがたくさんあり一教員として、地域教育との橋渡をしてみたいと思いました！

子供を育てるのは先生や親だけではないですね！

絶対私も地域の方に育ててもらってました！

だからこそ、地域の素晴らしさを学校という学び舎で伝えたいです！

地域をよくするために活動されている方のお話を聞かせていただいて、参加して本当によかったと思いました。

そんなドラマみたいなこと(都会から地域おこしのために来た人を外様扱いしたり…)があるのかと思いました。

でもどの方も自信をもたれていてとてもかっこよかったです、、！

自信を持つというより、あるって感じでした！！そんな風になりたいです。

熊本 佳菜美

=====

今年で3度目の大洲、知っている方がどんどん増えていって「去年もお話しましたよね」「また来年も」という会話が出来るようになりました。

色んな人が私を覚えてくださっていたこと、また会えたら良いですねという言葉を受けたことがとても嬉しかったです！！

私は今回、大人の方のエネルギーをもらいにいくと(一部)目標があったのですが高校生からのエネルギーもたくさん頂けたなと2日間を通して思います。

(もちろん大人の方からも頂きました!!!)

横浜から来た高校生に見えないようなしっかりとした男子生徒2人の、自分の将来の夢と、その夢に向けて勉強しているんだらうなという知識や佇まいがすごすぎて見習うことだらけでした!!!

しっかりとした姿はもちろんなのですが、なにより堂々と将来の夢を語る高校生の姿に私は感動しました。

どれだけすごいかという、自分はどういう大人になりたい、こういう日本の問題をどうしたい、というのを5分間くらい250人くらいの大人の前で話せるくらいです！

夢を力強く伝える素晴らしさを高校生から姿勢で学びました。

何年経っても、「〇〇（職業）になりたい」という夢じゃなくても自分の夢を大切にしていきたいなと思いました！

五味樹里

=====

◆《感動の沸点を下げること、感謝のハードルを下げること》

「こうしてたら、いろんなことに気づけるし、何より自分が楽しいよ！＼(^o^)/」

と、話してくださった方がいました。

私は、いくつになっても、学びと気づきと夢を掴む感覚を持っていたい、「感動する心」と「感謝の念」を育て続け、アンテナ張って、生きたいです(^o^)

具体的に何をしようか！？、こっそり メラメラしている 今 です(^.^)

◆ご縁を大切にすること！？

《会ったことのある人、話したことのある人、お世話になった人と 再会 できたときには、こちらから駆け寄って、元気にご挨拶すること！》

こんな人、私はすごく好きなんです(^o^)

これは、人とお話ししたり人と積極的に関わることがとにかく苦手だったかつての(笑) 私が、本番、研修、募集活動、などなど本当にありとあらゆる場面で見かけて心から憧れた、おの100の先輩たちの姿でした。

そして 4度目の大洲で、ようやく！自然と、無理なく(笑)、あの先輩たちの姿に少し近付けたような気がしました。(長いことかかりました)

おの100での再会も、大洲での再会も、仕事での 研修や出張や会議での再会も、どんな再会でも、きっと同じですよ(^_^)

相手は私のこと覚えてないかも、とか考えず勇気を出して「〇〇さん！お久しぶりです！」と駆け寄ると、出した勇気を忘れるくらいの相手の笑顔と 自分の嬉しい気持ちが生まれて、すでに、「これはやめられないな！」と実感中です。

会えたときに駆け寄りたくなる人、高知でも、広島でも、徳島でも、愛媛でも、いろんなところで、たくさん思い浮かんで、まだまだ人生濃くできそうな予感です(^o^)

◆“大洲”に限ったことじゃない！？

大洲では、人・言葉・考え方、…

たくさん素敵な出会いをいただきましたが、例えば帰りのバスでの振り返りを聴いていて、あれもこれも「大洲に限ったことじゃない！」と、「はっ！」と気づく瞬間がありました。

- ・夢は何ですか？
- ・どんなやりがいを感じていますか？
- ・どんな失敗をしましたか？
- ・モチベーションの保ち方はありますか？
- ・どのように仕事と両立していますか？

どれも、大洲で出会った方に尋ねると、「！」と思うような話を語っていただけた話題で、生き生きと語っていただけたものかと思いますが、それは ぜんぶ、おの100でも、ほかの友達にも、職場の方々にも、《ききたい人には訊いてみたらいい》ということを改めて、考えていました。＼(^o^)/

年に一度の、“大洲”に限ったことではないんですよ！

もちろん これは、年上の人、“大人”の人、人生の先輩たち、とも限りませんよね(^.^)

「対話」です！

私もまだまだ修行中?なので、知りたいことや知恵を貸してほしいことがたぶんたくさん！あります。
窪内 真帆

=====

【質問するって大切】

わたしは分散会で、新居浜市の公民館の方に、泉川中学校区学校運営協議会(つまりコミュニティスクール)についてお話を聴きました。

コミュニティスクールとは、「学校運営協議会」という組織を新しくつくり、そこで学校、保護者、地域の方などがアイデアを出し合って教育の動きを決めていくものです。

泉川中学校区では、かなり制度が完成されており、発表される方もとても誇らしげな様子で話されていました。

私は授業などでコミュニティスクールについて触れたことはありましたが、いまいち形態が飲み込めておらず、根本的な仕組みについてのとんちんかんな質問を何回かさせていただきました。

地域と学校との線引きはどこでされるのか(線引きを無くすのがこの制度なのに…)というようなものです。

その時には、発表者の方はあまり私の質問の意味がよくわからないという感じでした。

が！

二次会で、その分散会にいらっしゃった別の方(愛媛県教育委員会の方)に突然話しかけられたんです…！

「早川さん！あなたすごくいい質問していたね！」と。

「平川です…！ありがとうございます！」

あの分散会の場では誰も私のような「そもそも論」の質問をしなかったけれど、どれだけコミュニティスクールについて分かっている人がいるんだろうと疑問に思われていたから、私の質問はいいところに目を付けた質問だったのだそうです。

そこから、コミュニティスクールは学校と地域との壁を無くすものであること、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(略して地教行法)について調べたらよいこと、など様々なことを教えていただきました。

とても深くアツク語っていただいて、とても勉強になりました！

知ったかぶってても始まらない。何か知らないことは恥ずかしいことではなくて、わからないなら聴けばいい！私は今回学ぶぞ！という姿勢で意気込んで行ったからできましたが、日々の生活の中ではできてないな…いつでもできる人になりたいなと思いました！

そんな姿勢には、答えてくれる人が必ずいます。

【人と話すことって楽しい】

2日間たくさんの方とお話して思ったのは、私は人が好きだなということです。

様々な考え方があります。様々な立場上の意見があります。それでいいと思います。

別に同じになんてならなくてもいいから、話して、共有していけたら深みのある人間になれるんじゃないかな。と。

この方がこういう意見を持っているのは何故だろう。と話す中で質問し、分析していくのも楽しいですよ！

スツと会話に入って心に入ってくる方ともお話できて、気持ちがよいし楽しいし、すごいなと思います。訓練次第です。がんばります。

平川 暁子

=====

【自分の目標への振り返り】

目標:尊敬する人、憧れる人を見つける。

結果として、見つけることができたと思います！

今回、沢山の方とお話する中で、この人のこんなところすごいな～、真似したい、と思うことができました。

その中でも、宮崎県の南日本ハムの難波さんという女性の方に、女性としてもキャリアウーマンとしても、キラキラしたものを感じて、憧れを抱きました！

その方とは分散会が同じで、企業から学校への教育、上手くかけないのですが、具体的にいうと、日本ハムの社員でありながら、学校、地域に出向き、「食育」について、講演されています。

「企業と学校」ってなかなか結びつかないものですよ。

しかし、分散会を通じて、普段こんなことをしている、という話だけでなく、会場にいた私たち自身も、「食育」の重要性について感銘を受けました。

また、難波さんの素晴らしさというのは、働く中で、企業から学校に出向くが、お互いに理解できない、わからない部分があり、その根本を「お互いへの遠慮」というように、しっかりと掴んでいらっしやっただけです。

「課題」というのは、根本が必ずあって、そこを改善しないことには解決しないということを知りました。

また、自分が楽しまないと上手くいくことも、いかなくなるよ、ということも、終始楽しそうにお話する難波さんから実際に伝わってきました！

私もすぐ暗くなりがちですが、真似したいと思います！

他にも、一つ一つの女性らしい気遣いであったり、傾聴力の高さだったり、したところも素敵だと感じましたね(^)

最後お別れするとき、「何かあってもなくても、メールしてね！吉川さんの夢を応援してるからね！」と言われ、こんなにも初対面だったのに支えられてるんだな、と心強く感じました！！

この方とずっとずっと、連絡を取っていきたいですし、この方を目標にして、自分も夢に向かって頑張っていきたいと思います！

【こんな人いました～】

これもまた分散会でお会いした方です！

愛南町の主婦の方2人なのですが、この方たちの素晴らしいところが、想いが強いくらい強すぎる、ということです。

自主防災についての取り組みでしたが、お二人は東日本大震災の起こった岩手県へ出向き、そこで津波の恐ろしさを感じたそうです。

最近では南海トラフ地震のことが話題に出ますが、愛南町も調査によると町全部が飲み込まれるほどの津波に襲われるそうです。

あの時の過ちを繰り返してはいけない、と決心したお二人は愛南町で、地域ごとに分けて避難することの重要性や、実際に避難訓練を行なって、町民全体の津波への意識上げを行なっています。

主婦さんの勢いとかパワーは本当に凄かったです！

自分たちの町に住む人々を守りたい、同じ過ちをしない、という強い信念のお陰で、「私は死んでもええわ～」と言っていたおばあちゃんは、「しっかり避難して生き延びるよ、子供たちを助ける役目あるからね、」と言うようになったそうです。

防災への取り組みも、また地域教育なんだ、！という実感が大きかったです！

そして、何気なく平凡に過ごしてた主婦さんが、立ち上がって町のために動いていった、というのは、私も本当に見習いたいと思いました！

内容多めで、感じたことばかりを並べてしまいましたが、本当に、元気をいただきました！

何より、大洲の雰囲気が好きでした！

来年も楽しみです(^o^)

吉川 千砂子

=====

1年ぶりの大洲で去年や一昨年あった人との再会であったり、新しい人との出会いであったりと今年もたくさんの人とのつながりを感じることができました！

私の地元が近いということもあり、地元トークで盛り上がったもの嬉しかったです(*^^*)

名刺交換したり、フリータイムでの新たな出会いや再会に喜ぶときにはとてもこやかに会話をして

いるのに交流会等で相談したり質問しているときには真剣な表情をしてお話しされていたり（もちろん笑ったりもしますが）というギャップが私はとっても好きでした。

【のちのちの宝】

私は考え込んでしまうタイプです。笑

あと、失敗とか後悔も結構引きずるタイプです。笑

そのことについて交流会で出会った方に実は~~~と話を聞いてもらっていました。

その時に悩むこととか考えることは今はしんどいかもしれないけど のちのちは宝になるよ~~って言うていただきました。

また、失敗についても結果は失敗かもしれないけど その時その時に最善やと思った判断をしたはずなんやから、そんなに失敗やと思わなくてもいいと思うよ~。

結果それは自分がやりたいこととか叶えたいことの近道になってくれると思うよ~~

というようなお言葉をかけていただきました。

「失敗は成功のもと」や「過去が咲いている今」など おの 100 でも似たようなこれまで聞いたことのあるような言葉でも場所や状況が違えば自分への入ってきかたも違うなあと感じました。。

そして今までよりもまた少しこれまでの自分を受け入れる？ことができた瞬間な気がします。

これまで参加したときと何が違ったのかまたちょっと考えてみたいと思います。

井上真吏奈

=====

【しっかりとした地域交流】

今回の大洲で、子どもは、学校と家庭そして地域で育てることが大事であると学びました！

地域で育てることで、子ども達はより多くの経験ができるようになります。そして、それは子ども達のキャリア教育になります。

また、地域での交流が進み、知り合いが増えれば、「この街で働きたい！」「また帰ってきたい！」

「この街がすき！」と思ってくれる子どもが増えると思います。

今回、学校、家庭、地域が一体となって子ども達を育てようとする活動が多くあるのを知ることが出来ました。

学生が子ども達に自由に遊ぶ場を提供していたり、理系のスペシャリストが、子ども達の為に、理科教室を開いていた、地域の方が先生になり、年間を通して子ども達に、自分が教えられることを教えてあげたり。

どの活動も魅力的で、地域と学校、家庭が、まさに一体になって子ども達の為に頑張っているなって感じました。

私は、これらをどうにかして、おの 100 にも応用できないかなって考えていました。

例えば、寺子屋の活動は、地域と子どもを結びつけるいい機会だと思います。

その寺子屋に地域の人との交流をもっと増やせないか…交流はなんでもいい

その人が「これなら出来る！」ということを見せてもらったり、子ども達と一緒に作ったり 地域の方をお呼びするなど、地域の方との関わりは、今までのおの 100 で築けているのではないかと

ただ、そう考えていると、寺子屋のプログラムに疑問がたくさん浮かび上がってきました。

新しいことを始めたい時、何かを変えたい時には、今までどういう理由でそういう形をとっていたのか、どういう流れで今の形になったのか。これらの事を知っておく必要があることも今回学ぶことが出来ました。

地域と子ども達の交流を深めるために、もっともっと地域の方と自分たちが交流をし、地域の人達と子ども達を繋げる必要があるんじゃないかなって感じました。

【将来の夢】

私は、将来の夢が決まっていません。真剣に考えてないだけかも知れませんが(^_^;)

中学校・高校の間にもずっと「早く決めなさい」と言われていました。

でもなかなか決まりませんでした。

そこで、今回、今の仕事に就いたきっかけなどを数人の方に聞こうと考えていました！
実は、福岡で行われた生涯学習実践交流会に参加した時にも、同じことを数人に聞こうと決めて、聞きました！
聞いたほとんどのの方が「無理に決めないでいいんじゃない？」「好きなことが見つかったらそれをすればいいんだよ」と仰っていました。
個人的には、「え？！」って感じでしたが、なんだか救われた感じもありました。
とりあえず早く決めないといけないから、決める。そんなのでいいのかなあ でも時間もあまり無いし、そうしないといけないよなあ はあ大人になりたくないなあ(笑)
中学校・高校ではずっとこう思って過ごしていました。
その考え方が大きく変わったから、自分的に救われた感じがしました！
とりあえず！今、自分が出来ることをしっかりして(資格をとったり、勉強したり)将来、やりたいことが見つかったらそれに向かって頑張りたいとおもいます！

伊原大樹

=====

私は、将来、「教員になりたい」「教育に関わりたい」とは考えていないため、始めの方はどの方からお話を聞いても難しく、また、ピンとこず、おの100と結び付けようとしても、うまく繋がらず、モヤモヤとさまよっていました。

しかし、いろいろな人と話しをさせていただいたことにより、心に残ったことがあります。

それは、「自分で考えて動くことにより、責任が生まれてくる」というお話です。

「いろいろな知識や人からの意見を自分で自分の頭の中でかみ砕き、行動に移すことが大切だ」と話していただきました。

おの100ではもちろん、学校や日常でいかに自分の頭を使うことができているかを考えさせられました。

これからのおの100を、これからの自分の人生をどうしていきたいのか、他人ではなく、自分が考えていけないといけないのだと、感じました。

この地域実践交流会はたくさんのお会いで溢れている場であったため、少し前に学校の授業で、学んだ「出会いが真剣勝負」という言葉を思い出しました。

大洲に参加した人も参加していない人も今までたくさんの人との出会いがあったと思いますが、「また、あなたに会いたい。」と、どれだけの人に思ってもらえることができているのかなと少し、考えました。一つ一つの出会いと私はどれだけ、真剣に向き合い、勝負してきたのかを考えるきっかけにもなりました。

そして、次にまた、出会うことがもし、できたときに、この前の出会いから自分自身が成長していないと、この「出会い」の意義(価値)が薄いものになってしまうのではないのかなとも考えました。

だからこそ、どんどん成長し、魅力溢れる人・団体になるためにも、考え、小さなことからでも、まずはやってみることに、笑顔がとても大切になってくるのだと、出会いから学びました。

田中侑奈

=====

【教員って凄い！】

自分が今回大洲に参加した目的が、教員になるかどうか迷っている。

現役の教師の方に何故教師をやるのか??教師をやるモチベーションはなんなのか??と言うのを聞いてみたい！と思って参加しました。

結果なのですが、まあほんとうにすごかったです。

上記の質問をいろんな方にしてみたんですね。

どの人もね、この質問を聞いたらキラキラした目で「教師はいい職業だよ！」「楽しいよ！」

って仰っていたんですね。

それは教育委員会の方も、小学校の方も、中学校の方も、高校の方もみんな一緒でした。みんなおんなじ事を言うんですよ笑(ちょっと面白かったです笑)

特に胸にささった言葉が、愛媛の教育委員会に勤めてらっしゃる岡本さんの言葉だったのですが、「確

かに教員やってて苦しいことは多いよ？けど社会出たらどの職業だって苦しいことは待ってるじゃん？俺は自分は教育やっててやめたいと思ったことはないし、卒業した子どもが成長して自分のところに戻ってきてくれる喜びを知ったらもうやめれないね笑」って言葉です。

人生苦しいこともあったら楽しいこともありますよ！

その中で、苦しい中でもこの仕事をやるのは楽しい！

と思ったら、それは自分が本当にやりたかった仕事なんだなあ…と思いました。

正直今でも教員になろうかなるまいか、って悩みは消えてないですけど、この学生の今のうちに、色んなもみで自分のやりたいことを探してみよう！と思えました！

じゃあまずは何をやるかって考えて、色んなものに触れたいんならせつかく色んな教育の在り方をもった人と関わったんだから、とりあえずはこの気持ちをくれた沢山の方々にこれから連絡を送っていかうと思います！

この気持ちをくれた方々との関係をあの二日間だけで終わらせたくない！

そう思えたことが自分のこの大洲の二日間での一番の成果かなと思います笑

色んな人のあったかい気持ちに触れて、自分のこれからの未来をキラキラしたものにしてくれるのが大洲の1番の魅力だなと思います！

泊野大樹

=====

【とにかく、動く！】

今回、大洲でいただいた学びは、

1. どんなことでも面白くすること！

2. 「出会い」から「繋がり」へ！

の2点です。

「つながり上手な事業が大きく成長している」というのは、去年抱いた感想ですが、今年の私にとってもキーワードは「繋がり」でした。

「出会っただけで満足しているんじゃないか？」と、2日間で自問自答しました。

人との出会いだけでなく、学びとの出会い、感動との出会い、、、

ありとあらゆる「出会い」を生かしていくには、それを繋ぎ続けていくこと！

そしてそのために、私は情熱を持って動き続けたい！

繋がるといけん、からじゃなくて、繋がっていたいから、行動するんだ！！

大洲から帰ってきて、その想いが強まるばかりです。

大洲で憧れたキラキラした大人たちは、「楽しい」から、情熱が溢れて溢れて、行動に現れていました。

改めて、「楽しい」って何があるかな？って考えてみると、、enjoy！的な楽しさだけじゃなくて、充実すること、学びを得ること、満足感や達成感が得られること、大きな感動を味わえること、成功体験、失敗体験、自分が成長したっていう実感、、、

ほんと、たくさんありますよね！！

私はぜひぜひどんなことも「楽しさ」を情熱に！、

「出会い」から「繋がり」を創っていく

そのために、とにかく動く！動く動く動く！そんなひとでありたいです。

【余談！？（長くなりました 笑）】

「現状に満足した者に成長はない」

おの100にだけでなく、今回のような、限られたチャンスを掴まなければならない(?)場所では、積極的に食らいつこうとする反面、日常的にチャンスが溢れている場所(職場など)では、その積極性が薄れてしまい、現状に満足してしまっていることに、昨晚、職場の先輩とお話していて気づきました。

あの場限りではなく、日常でも！日常でこそ！！学びに、成長に対して必死に「食らいついて」いき

たいです！！

例えば、私の職場には、大洲で出会った人たちに負けなくらい、教育と子どもに対してアツイ想いをもった人たちがたくさんいます！

私は、この場所でこそ、貪欲にならないと、ほんともったいないのに、自分がしんどくならない程度に頑張る、という現状に満足していました。

先輩からも子どもたちからも決して、現状の自分に満足せずに、積極的に謙虚に、日々学び続けていくぞ！（もちろん、楽しみながら！！）

大洲から帰ってきて、職場の先輩たちに、今まで以上に質問などをしているのですが、

その度に 新しい知識や考え方、職場の人のステキな一面と出会えて、働くのがすっごく楽しいです。

目の前の子どもたちにはもちろん、大好きなおの100にも、つなげていきます！！！！

2日間本当に有り難うございました！

原 知里

=====

「実践するかしないか」です。

さらに言えば、「おの100を卒業した後、自分が住む地（実家でも働く地域でも）に仕事以外で力を注げるか」ということです。

もちろん、“単にやらされている”のでは今学んでいることが全く生かされていないでしょう。

社会の現状に対して私たちができることを自ら行動し続けるのです！

学ぶことは変わることに。

社会は完璧を求めているわけではありません！（と、私は思います。）

完璧を求める風潮は確かにあるように感じますが、それはそれが問題なのです！（と、私は思います。）

その2（笑）

目指す壮大なゴールに向かって、出来るかできないかはわからないけど、“挑み続けること”、“一歩を踏み出し続けること”これこそが元気あふれる、たのもし、たくましい人間だ！と、私は自信を持って声高らかに叫ぶのです！

気づくことに早いも遅いもありません。“気づいたとき”が最大の好機なのです！

いつになっても「何か」を追い求める気概、いや！そんな崇高なものでは全くなくて、「愚かさ」が必要なのです！

私は何を言われてもこのまちでやり続けます！

佐藤 秀征

=====

【”大好き”で関わる！】

何人かの方々とお酒を交わしながらお話しして地域が、そしてヒトが大好きなんだ！と楽しそうに嬉しそうに誇らしそうにこれまでの事業の歩みや、将来のビジョンを話して下さるのをきいて、「こんな風に何か一つでも大好きなモノのために生活できたら、人生幸せだろうなあ。。」と素直に羨ましく思いました。（笑）

事業の歩みの中に、上手いかずしんどい時期もありながらそれでも活動を継続されているのは”大好き”という想いが支えているんだと感じました！

”大好き”だから、地域に自分から歩みよる事ができる、”大好き”だから、ヒトと協力して高い目標に挑戦できる、”大好き”だから、失敗しても「次に活かそう」と前を向けると私は感じました！

これはおの100にも、これからの生き方にも活かせる考えだなと思います！

何をするにも”好き”という感情があれば義務感で行動することも無くなるし、自分から『周りの環境を良くしたい！』と自然に動けると考えました！

”大好き”になるにも、自分から動くことで湧いてくる感情だと思うので自分から歩み寄ることを、今からでも遅くないと思うのでやっていきます！

竹野下 諒

=====

【地域教育の可能性】

今回自分の中で新たな観方を学ばせていただいたのは、地域教育の可能性を感じた瞬間であったと思っています

教員の方も、教員ではない地域の方も子どもたちに体験をしてほしい、地域に愛着を持ってほしいなど想いは同じだと感じました。

未来の担い手である子どもたちを学校、そして地域が育てることが地域のつながりをつくり、それが何かあたたかいものとしてずっと心に残り続けていく、そのような素敵なまちを次世代にも繋げていきたいと強く思いました。

【これからに向けて】

地域っていいものだなとあらためて思うと同時に、いますごく、その有り難さを実感しています
やっぱり自分の育ったまちは特別ですね、

今後、また将来地域に関わり、自分の想いを実践するためには今ここの体験を積み重ね自らの力としていくこと、目標の先にあるものを見据え挑戦していくことが大切だと気づかされました。

地域教育ってすごい…！と純粋に、そう思えるくらいに、今回の大洲での経験1つ1つが今の自分が変わる大きなきっかけであるように感じています。

藤川 唯

=====

【大洲での2日間を振り返って】

◇育つ環境が大きく影響する

大洲に参加している人は地域教育、色んな形で人の成長の環境に関わる人が多く集まってきていましたが、毎年大洲に参加していく中で想うのは、“なにが引き金でその活動を立ち上げたのか”、その活動を立ち上げたいと考えるようになった原因や要因がある環境にいたからこそ、今の活動があるのだろうと感じています。

○地域の人の関わりが濃い地域出身

→関わりが疎遠な地域では違和感を感じる

○人が多い地域出身

→人が少ない地域では活動の幅を感じる

色んな環境によって感じる事、そして違和感を感じる事は多いと思います。

違和感が良いものであろうと悪いものでも、活動を起こすきっかけになれば、新しい動きが出来ますね！

大洲といった交流集会や、各自が所属する地域といった大きなコミュニティだから感じた感覚ではなく、それぞれが生きてきた環境をしっかりと振り返っていくことが出来れば、きっと色々な違和感を感じられますね！

学生同士生まれ育った環境は違う、だからこそ同じ経験をしていても感じ方が違う、その違和感に敏感になって、しっかりとぶつかり合えれば、そこから“新しいみんなで作る環境”が生まれていくのだなと思います！

大洲に来られている方たちは、その違和感に敏感で、そしてそれを妥協せず追いつけてきた人たちでした！

その姿勢だけでも、簡単にはできる事ではないけれど 目指す姿だと思います！

今の私たちにできる事は、色々な人(仲間や後から来る者)が違和感を感じられるくらいの気づきがある環境を残し続けていく事です！

“環境は自分たちで作る”、以前私自身が言っていた事でした。

大洲の大人に負けない若さで、取り組んでいかないとはいけませんね！

◇こだわりを捨てない＝自分の人となり

大洲に来られている大人たちは自分の中にしっかりとしたこだわりを持って、そしてそれを前面に押し出している人、だからこそ輝いていますね！

それこそ、あんまり話をしていなくても、ぱっと見ただけでもすごいと感じる人は、この“こだわり”

や“信念”を持っています！

学校教育に対して妥協しない人、食育に対してこだわりを持って取り組む人…

こだわりはその人そのものを創るし、その人の人となりに大きく関わるものです！

こだわりがあるからこそ、そしてそれを伝えているからこそ、外から見ても〇〇さんはどんな人か、みんなしっかりと感じていると思います！

○自分が何をする人か？

○自分が何が好きな人なのか？

こだわりを持つことは小さなことから始まっていくと思います！

去年の大洲でも挨拶運動をこだわって、地域で元気にされている人とお話しても、やっぱり最初のきっかけは、「自分が挨拶出来ない人が嫌だから」というものだったそうです！

今、みんなの中に譲れないものがあれば、それを譲らず、まずはぶらさず貫けば、いつか自分の大きな力になりますね！

まずは2日間大洲に参加しての振り返りです！

明日には発表者としての振り返り、2日間大洲に参加しての経験をどう活かすか、今後の具体的な目標を1つ、それを踏まえての振り返りを1つ、しっかりと一緒に引っ張っていきます！

外に出たからこそ得た学び、無駄にしない為の行動がまだまだ足りない、甘えてるんじゃないと喝を入れます！

もう一度しっかりと、「学びと気づきと夢」をもらえるような環境を自分から創っていける行動を続けます！

木曾 裕介

=====

【地域教育とは？】

私は教職志望ではないのですが、将来、地域に関わることをしたくて今回大洲に参加しました。

今までは学校の先生だけが教育に関わっていると思っていました。

しかし、「地域の子どもは地域が育てる」「子どものために、がズレなければ地域教育」という言葉を聞いて、地域の人との協力なくして、子どもたちは育てられないんだなと思いました。

大人になってから、子どもができてから、地域教育に関わるのではなく、今でも住んでいる限り、私たちは子どもたちを育て、守っていかなければなりません

地域教育とは何なのか。それは、地域の子どもは地域が育てること。学校では学べないものを地域の人、みんなで教えていくこと、そして地域性を繋いでいくこと。だと考えました。

地域教育に関わるには、まず自分が地域を好きになること、地域について知ることが大切です。

自分の地域はどういう所なのかもっともっと知っていきたいです。

【熱い想いを持った仲間たち】

VR や映像編集などの仕事をされている、大美和博さんが「やりたいと思ったことをやるんよ！やって後悔はないけど、やらんで後悔はあるよ。何かやりたい時、自分の想いを誰かに『私これやりたいです』と言って賛成してくれるのが大洲の仲間。今日来ている人はみんな同志。いろんな人と繋がりを持つことで自分のやりたいことでこの仕事はこの人が得意、あの仕事はあの人が得意、という風に自分のやりたいことを助けてくれる」と仰っていました。

自分のやりたいことをやらずに悩んで後悔するなら、やりたいことを伝え助けてくれる仲間と共に頑張りたいです。

家族でも、職場でもない所で同じ方向を目指す仲間がいるのはいいなと思いました。

【これから】

私は友だちに「地元愛がすごいね」って言われるくらい香川が大好きです。

でも、なんでそんなに好きなのか分からずモヤモヤしていました。

今回大洲で、地域教育に取り組んでいる方と出会ったことで私は地域に育てられていたんだ、と実感しました。

これからは私が一人でも多く地元大好き！と思ってくれる子どもたちを育てていかないと
いけないなと思いました。
今まで地域の方々に頂いたたくさんの愛を今度は子どもたちに与えていきたいです。

長井 夢香

=====

【自分の目標の振り返り】

今回自分が参加したのは大洲は教育関連の人がたくさん集まるということで小学校の教師を目指して
いる自分に今何が出来るかをたくさんの人に聞いてこれからの4年間のプランを考えるが目標でした
自分に今必要なことが分かりました それは

- ・ 凡事徹底
- ・ 失敗を恐れずに行動する

たくさんの人とお話をさせていただきましたがその中でも1番印象が残っているのは愛媛教育委員会
の事務局の方で土手さんという方なのですがこの方にずっとお話を聞いてもらいました。

まず小学校の先生は大変だよって言われました笑

でもねそれ以上に子供のちょっとした成長がとても嬉しいよってすごく嬉しそうに言ってくれました。

子供の成長にはまず自分自身がしっかりしておかないといけないし 子供の成長を活かすも殺すも教
師だからね このくらいでいいやおおざっぱに流したりしてやったりすると絶対にだめだと言われ
すごく自分の中で当てはまることが多くて子供をダメにする教師なんてなりたくないと思い、だから
自分はあたりまえのことをあたりまえのようにする【凡事徹底】を常に頭に置いて生活しようと決め
ました。

大洲を終えて3日経ちましたが だらけてしまいそうな時になにかと凡事徹底と頭に言い聞かせてや
るべき事が出来ていると思います。あたりまえのことをあたりまえにするってなかなか大変ですね笑
これからも続けていきます！！

もう一つの【失敗を恐れずに行動する】は 今はまだ失敗したって成功だよ 失敗を恐れて行動しな
い方が失敗だと言ってくれました。

大人になってからは失敗は許されないが今は学生じゃん！ってまだ失敗も許されるしその分いろんな
経験も出来るしたくさんを学べると思うよと、俺は学生の時にもっと色々なことに挑戦して失敗
しとけばよかったと後悔していました。

話を聞き、失敗は成功というのが失敗はやっぱダメでしょと最初はふつうに思いました。

でも話を聞いていくうちにこれまでの生活でなんとチャンスを自分から逃していたのかと感じました
いろんな出会いや経験など、

すごくもったいない。もっとチャンスを掴みにいかないともたたくさん失敗することで同じようなこ
とがあったら対応できる失敗がいいように思えてきました

だからこれからは何事も恐れずたくさん挑戦してチャンスを掴みに行き後悔のない4年間にしてい
きたいと思いました。

他にもたくさん学んだことがありましたが自分の印象的なものを書きました。

今回初めて地域教育実践交流会に参加しましたが本当に勉強になりすごく刺激を受けた2日間でした
大洲で自分が話した方達は全員キラキラしていて話していてすごいなとかかっこいいなとかこんな
人になりたいなとすごい感じました

自分の憧れる人を見つけれることが出来るし本当にすごい人ばかりの中でたくさんお話ができるし、
人もあったかいし、元気ももらえるし、みかんもおいしいし、大洲はとてもよいところでした！！

石川 啓生

=====

【教育で地域の再生を目指す団体さんの共通点】

私は、大洲から帰って、地方の地域づくりの変遷を調べ、なぜ、地域の再生が必要になったのかを考
えました。

そこから、私は、「ひとつづくりによる独立したまちづくり」があると感じました。
益田市教育委員会:大畑さんの分散会に参加をして、発表を聴いている時に、「生き抜く力」という言葉が出ました。
これは、自分のルーツや地域のことを知ることで、自分自身を肯定して、強く自分が生きるだけでなく、自分を育ててくれた地域と伴に行動し、自分と地域がこれからも生き抜く力が必要になるというものでした。
このように「いい地域」を創るために、「いい人」を育てることを主眼にしている団体さんがたくさんいました。

【この学びをどのように活かし、どう実践するか】

私は、この数日間考えた末に、先ずは自分自身を独立させ、自立と自律をさせなければならない結論に到達しました。

なぜ、これをしなければならないかという、多くの団体さんが出来るようになった経緯はどれも、何かに依存せず、「自分たち」で何かをつくるのが根底にあると感じたからです。

独立をしていない人とそうでない人で考えると、独立をした人の方がしっかりと考動をして入りからです。

例えば、人から支持を受けた場合で考えると、独立をしていない場合、やって終わり、ただ指示通りに動き、指示がないと自分自身で動けない、主体性のない指示待ちの機械的な人間になってしまいます。

しかし、独立をした場合、その指示以外にも、相手に自分から質問をしたり、提案をしたり、相手の立場や自身の立場を観察して、判断したり出来ます。

仮に失敗をしたとしても、何かを自分で考動をして、何かを得ることが出来ます。

どう実践していくかは、日常生活にまで意識を徹底させるしかないと思います。

具体的には、大学においては、歴史学を極めるに当たり、どれだけ、今、取っている授業の学問の考えを取り入れるか、自分でタイムスケジュールとその質を高められるか、そのために、手帳などのツールを可視化にどう役立てるか、自分がどう行動をすれば、おの100をよりよく出来るか、必要な時に、必要な場所において、どう力を使えるかなど考えたら、やりようはいくらでもありました。

私がおの100に学生として入れる時間は後、3年くらいで、どう、学生としての最大限の力を発揮するかを考えるだけでこれからは楽しみです。

大橋 功資

=====

まず私は、大洲での目標を3つたてていました

1 色々な方に成功体験と失敗体験を訊き、その体験をどう振り返ってどう活かしたのかを学ぶ!

2 連絡を取りつづけられるようなご縁をつくる!

3 プラスのエネルギーをいただく!

この3つです

まず1についてです

最近、振り返ってからの経験の活かし方?がわからなくて、経験豊富な社会人のみなさんに訊いてみようと思っていました

結果を言うと、体験談は聴けたのですが、その経験の活かし方は聴くことができませんでした。

これは本当に質問のスキルだなと思って…

私は体験談とその活かし方を一度に聞こうとしていたので体験談しか聴けませんでした

体験談を訊く→話を深める→体験をどう活かしたかを訊く

という風に、段階的に質問すればよかったと思っています 質問って難しい!!!

段階を踏みながら少しずつ広げていくことが大切だと知りました!

そして2について。

子どもの教育事業を行う「香川県おやじの会」の方とお話をしました。

なんと、来年の1月に香川県で行うイベントへのお誘いをいただきました！
私は地元でどんな事業が行われているのか、そもそも教育事業が行われているのかすら知らなかった
ので…
今回大洲に行って得た収穫はとて大きいです！

そして3について。
なんだろう…言葉にできないフィーリング的な熱さ、エネルギーをいただきましたかったんです
大洲に行くだけで信じられないくらいすごいエネルギーをいただきました！！

穴吹 明香